

エコライフ・フェア 2016 の基本的な方針

1. エコライフ・フェアとは

エコライフ・フェアは、毎年6月の環境月間に全国各地で展開される様々な行事の中の主たる行事の一つとして、平成2年以来、環境省、関係地方公共団体、関連法人、団体、企業及びNGOが連携し実施してきました。ここ数年は、環境の日（6月5日）前後の土曜日、日曜日の2日間、東京・渋谷の代々木公園ケヤキ並木・イベント広場を会場に開催しています。

今年のエコライフ・フェア2016では、以下のことに取り組みます。

低炭素社会の構築について

今年には昨年のCOP21で、全ての国が参加する公平で実効ある新たな国際枠組みである「パリ協定」が採択されたことを受けて、地球温暖化問題の解決に向けた、新たなスタートを切る重要な年となります。

2030年度の温室効果ガス削減目標の達成に向けて取組を強化するに当たり、地球温暖化への危機意識を浸透させることで国民一人一人の行動への機運を醸成し、低炭素社会の実現に向けて期待されるライフスタイル（住宅、車、機器、エアコンの設定温度、照明の選択など）について、国民が自ら考え、選択するきっかけづくりを目指します。

また、家庭部門や業務その他部門等における地球温暖化対策を推進するため、平成27年7月に「COOL CHOICE（クールチョイス）」が開始されました。

「COOL CHOICE」を旗印として、国民に省エネ・低炭素型の「製品」・「サービス」・「行動」等賢い選択を促します。

自然共生社会の構築について

鳥獣保護管理の抜本的強化や担い手の育成、国立公園や世界自然遺産、生態系保全上重要な地域の保全・活用、森里川海のつながりやその恵み、希少野生動植物の保全等を考える機会となることを目指します。また、自然環境資源を活用したエコツーリズムによる地域の活性化、ペットの適正な飼養管理について国民の理解と協力を深めることを目指します。

循環型社会の形成について

循環型社会の形成に向けて、発生抑制・再使用・リサイクルへの協力の発信を目指します。また、浄化槽の整備、PCB廃棄物の処理促進、水銀廃棄物の適正処理、不法投棄対策など社会の安心・安全のための施策の発信を行ってまいります。

震災からの復興について

東日本大震災から5年余が経過し、被災地の自立につながり、地方創生のモデルとなるような復興を実現していく復興・創生に向けた次のステージ「復興・創生期間」に入ります。引き続き、復興への取組の加速を訴えてまいります。

2. エコライフ・フェア2016開催の基本コンセプト

環境問題に一定の関心や潜在的な関心がある家族・友人グループ・個人が、科学的な知見の学習や楽しく体験することを通じて、環境問題への関心を高め、行動に移すきっかけを提供することで、持続可能な開発のための教育（ESD）の絶好の機会とします。

その際、以下の事項を踏まえることとします。

- ・「低炭素社会」「自然共生社会」「循環型社会」「東日本大震災からの復興」等を始めとした環境問題について「気づき」から「行動」へと導く。特に持続可能な社会づくりに求められるライフスタイルの見直し等の行動を、より一層促進させることをめざすものとする。
- ・環境省、企業、NGO、マスコミ、研究機関などが協力・連携して実施する。
- ・実施・運営に当たっては、環境への負荷をできる限り低減するとともに、環境への負荷をオフセットすることを積極的に試みる。

以上を踏まえて、参加者が創意工夫し、柔軟に参加できるフェアとするため、今年以下テーマを定め、実施します。

『地球がすき。未来がたのしみ。』

3. 開催概要

タイトル エコライフ・フェア2016

開催期日 平成28年6月4日（土）、5日（日）

会場 代々木公園 ケヤキ並木（NHKホール前）/ イベント広場

主催 環境省

共催（予定）渋谷区

後援（予定）文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、観光庁、東京都、渋谷区教育委員会、（一社）日本新聞協会、（一社）日本民間放送連盟

協力（予定）日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、日本生活協同組合連合会、東京都生活協同組合連合会、京王電鉄（株）、グリーン購

入ネットワーク、エコ・ファースト推進協議会

予想入場者数 8万人

入場料 無 料

4 . 内容

(1) 会場の構成

企業・NGO等の出展と、主催者企画（出展及びステージ）から構成します。その際、フェアの基本コンセプトにあうような出展内容となるよう、各出展者に検討を依頼します。

展示内容は、「低炭素社会」「自然共生社会」「循環型社会」「東日本大震災からの復興」に焦点を当てるとともに、環境問題について身近な視点から理解でき、政策や一人一人がとるべき取組をわかりやすく解説するような企画、展示等を行います。

実施・運営に当たっては、環境への負荷をできる限り回避・低減します。

(2) 構想している出展内容

出展エリア

低炭素社会、自然共生社会、循環型社会、東日本大震災からの復興について、最新の科学的知見や、国内での各主体による取組の推進、国際的な連携などを紹介し、各主体が協力して、人々の生活様式や経済社会活動全体を環境にやさしいものとし、ひいては持続可能な社会作りへの取組につながるような企画を重視します。

ステージ

一般の来場者にわかりやすくエコライフを伝えるために、著名人のトークショーやコンサートなどを行い、より身近に環境問題を考えるきっかけづくりの場や、より関心のある層向けに、理解を深める内容で構成します。

飲食物の販売エリア

ご家族連れの方々にも楽しんでいただけるよう、飲食物の販売コーナーを設けます。素材からエコロジーの意識を持ってもらうオーガニック系の素材を中心とした飲食の提供を行う予定です。また、洗浄カーを準備し、リユース食器、リユースカップを使用し、来場者が洗浄、返却するディッシュ・リユースのシステムの実践など、エコライフ・フェアの名にふさわしいものにします。

5 . その他

(1) 留意事項

エコライフ・フェアの目的、基本コンセプトの達成度合いを把握し、より効率的な実施を図るため、来場者アンケート等を通じて、来場者数、来場者の性別・年齢・職業等を調査、集計します。

(2) 環境配慮

エコライフ・フェアの実施、運営に当たっては廃棄物の発生を最小限にとどめ、また、発生した廃棄物は、可能な限りリサイクルに回します。また、グリーン電力の利用など環境に配慮した取り組みを実施します。